

建築研究所ニュース



令和6年1月30日

当研究所のスパムファイアウォールに対する不正アクセスによる電子メールデータの流出の可能性について

概要

令和5年6月に発覚した当研究所のスパムファイアウォールに対する不正アクセスにより、当研究所が受信したメールデータの一部が外部に流出した可能性があります。

関係者の皆様にご迷惑をおかけすることになり、お詫び申し上げます。

本文

令和5年6月8日付で当研究所ホームページにてお知らせしたとおり、令和5年6月に、当研究所のスパムファイアウォールに対して、メーカーにおいてこれまで確認できていなかったシステムの脆弱性を狙った不正アクセスがあったことが判明しました。これは、国外においても確認されているメール関連機器の脆弱性を原因とするものであると考えられます。

当研究所における本事案の経緯及び講じた措置は以下のとおりです。

- ・ 6月6日夜 委託運用業者からスパムファイアウォールに対する不正アクセスの痕跡がある旨連絡
- ・ 6月7日 関係省庁へ報告
当該機器をメールシステムから抜線・分離し、抜本的な対策として、セキュリティ強化をしたメールシステムの更改を実施
- ・ 6月8日 HPに本事案に関する告知を掲載、警察及び個人情報保護委員会へ報告

その後、有識者の指導の下、委託運用業者が調査を行った結果、不正アクセスは当該機器の脆弱性を原因とするものであり、当研究所が令和4年8月から令和5年1月までの間にインターネット経由で受信した個人情報を含むメールデータの一部が外部に漏えいした可能性があることが判明したところです。

当研究所においては、本事案により、メールアドレス等の個人情報が漏えいした可能性を排除できない方に対して個別に通知しております。関係者の皆様には、ご迷惑をおかけすることになり、お詫び申し上げます。

なお、現時点で、具体的な個人情報の悪用等の被害は確認されておりませんが、今後当研究所を装った不審なメールが送付される等の可能性は否定できませんので、ご注意ください。

さい。

(問合せ先)

国立研究開発法人 建築研究所 企画部 情報・技術課

電話：029-864-2151（平日 9:30～17:00）

E-mail：info-cp(a)kenken.go.jp

（(a)を@に変換してください）

※このメールアドレスは受信専用です。このアドレスから
ご連絡することはありません。

メールにはいかなるファイルも添付しないでください。